

# みんなの広場

## みんなのギャラリー



▲バドミントンコートを使い、ビニールのボールを打ち合うミニテニス。127組のチームが参加した「第18回所沢市民ミニテニス交流大会」  
9月7日(日)／市民体育館  
(撮影／市民カメラマン・松崎 満)



▲秋晴れの下、コスモス・黄花コスモス・百日草などが咲き誇る市内北野のお花畑。「地元農産物の直売会」も開催され、多くの人でにぎわい、地産地消のPRも行われました。  
9月13日(出)／市内北野 (撮影／市民カメラマン・木村清貴)



▲「所沢市消防団ポンプ車操法大会」では、地域の安全・安心を守る消防団の皆さんが、日ごろ積み重ねた訓練の成果を競い合いました。  
9月14日(日)／中央消防署西分署  
(撮影／市民カメラマン・中村 仁)



▲所沢市消防音楽隊による演奏も行われた「救急キャンペーン」。救急業務について理解を深めました。  
9月7日(日)／パルコ新所沢店中央通路「ガレリア」  
(撮影／市民カメラマン・岩田洋一)



### 「地球にやさしい学校大賞」

大賞(中学校の部)「所沢市立安松中学校」編

「学校版ISOのさらなる推進をめざして」

- ◆学校版環境ISOってなに？  
ISO14001環境マネジメントシステムに基づき、学校の活動を通じて、児童・生徒、教職員および保護者の環境意識を高めると同時に、目標を決め、みんなで協力し、環境にやさしい行動を実践していくものです。
- ◆学校版環境ISOの取り組みはいつからはじめたの？  
平成14年度に市内の小・中学校4校で試験導入し、翌年(平成15年度)からすべての小・中学校で取り組みを始めました。
- ◆安松中学校の取り組みは？  
ごみの分別・減量など進んで環境を大切にしている取り組みや、地球温暖化の防止など地球規模の環境問題解決に向けて生徒・教職員・保護者が行動しています。
- ◆具体的にどんな取り組みを行っているの？  
・教職員…ごみ減量、裏紙の利用、資源物の回収など  
・保護者…卒業生の制服リサイクルバザー、通学路内(狼坂)の除草作業、校内の樹木剪定など  
除草作業や樹木剪定では、自治会や学校開放運営委員会など地域の皆さんにご協力をいただき、地域と連携し活動をしています。
- ・生徒…電気の消灯、水の節水、給食を残さず食べる、資源物の回収、地域清掃、学校の緑化・美化、花の植え替え作業など



問い合わせ 環境総務課 ☎2998-9133・FAX2998-9394

皆さんからの写真や投稿をお待ちしています！  
▶「みんなの広場」では、エッセイおよび市内で撮影した写真やイラストなどを募集▶写真には撮影日・場所・コメント(約60字)を明記▶エッセイはテーマにそって300字以内▶次のテーマは『発表の場』▶文章は添削あり▶締め切りは10月7日(必着)▶掲載者には記念品を進呈  
◎いずれも住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ〒359-8501並木1-1-1所沢市役所秘書広報課「みんなの広場」係へ郵送またはEメール(アドレスhiroba@city.tokorozawa.saitama.jp)でご応募ください。

## はつらつ 野老の子



11月2日(日)、第16回所沢市演劇祭で40回目の公演を迎える市民劇団銀杏の会。西島唯記子さんは同会の副代表で、今回の公演にも出演しています。

中学校・高校と演劇部に所属していた西島さんは、高校2年生のとき初めてオリジナル作品に取り組みました。「台詞ができていた既成の作品と違い、オリジナル作品は脚本作りからとても大変でした」と当時を振り返り「演劇の中で、青春時代の気持ちや不安を表現してきた気がします」と学生時代の活動を話してくれました。

西島さんは結婚を機に所沢で生活し、息子さんが5年生になり子育ても落ち着いたころ、ミュージカルをやってみたくてという気持ちが沸いてきたと言います。そのようなときに市民劇団銀杏の会と出会い、第35回公演『オズの魔法使い～銀杏版～』で西の魔女役として再び舞台に立つこととなりました。市民劇団の印象は「息子と同じ年代から大人まで、幅広い世代の方と話をしたり一緒に活動したり、新鮮でした」と話してくれました。「なぜか悪役が多くて、優しいお母さん役も演じてみたい」と

## 台詞にメッセージを込めて

西島 唯記子さん (向陽町在住)

笑顔の西島さん。11月の公演では時間泥棒役を演じます。「悪い役を演じると、ふだん使わない悪い言葉や台詞を言い、その言葉にメッセージが込められていることに、子どもたちには気付いてほしい」と思いを話してくれました。

稽古をしながら仲間とともに作り上げる作品は、音楽もオリジナル曲の生演奏で、みんなの思いの詰まった作品に仕上がりました。「1度きりでなく、何度も公演の依頼を受けて、たくさん子どもたちに観てほしい」と西島さんは夢を話してくれました。11月の公演にご期待ください。

▲公演に向けて稽古に励む出演者の皆さん

◆市民劇団銀杏の会 第40回記念公演  
ミュージカル『MOMO/モモと時間泥棒～銀杏版～』  
とき 11月2日(日)午後1時～、4時～(2回公演)  
ところ ミュース・マーキーホール(入場無料)  
◎詳細は社会教育課 ☎2998-9242)へお問い合わせください。



▲公演に向けて稽古に励む出演者の皆さん

## 歴史再発見 ところざわの文化財

### 豪壮・華美 見事な彫刻 ～御幸町の山車～

毎年10月に開催される「ところざわまつり」。各町内会が曳き回す山車は、紅白幕や水引、ちょうちんなどで飾り立てられ、まさに町内を代表する顔といったところです。市内には現在12基の山車があり、各町内ともいずれ劣らぬ見事な彫刻が施されています。中でも目を引くのが御幸町の山車で、大きな唐破風の屋根とその下に施された彫刻は見事です。所沢市の指定文化財となっているこの山車は、屋根飾りをはじめ、柱や梁に至るまで、総彫り・総地紋の彫刻で全体が埋まっています。

屋根の裏面に書かれた墨書から、明治6年(1873)に製作されたことがわかります。明治43年(1910)に石畑村(現東京都西多摩郡瑞穂町)から譲り受け、御幸町にやって来ました。

製作から130年以上が経過した平成16年には、解体修理が行われました。屋根や高欄は、漆が塗り替えられ、かしの木の車輪は新調されて、製作当時の鮮やかな姿によみがえりました。

威勢のいいお囃子とともに、今年も山車が曳かれます。  
問い合わせ 文化財保護課 ☎2998-9253・FAX2998-9128)



おはあちゃんの栗  
山口・桂 亜希子

栗。思い出るとともに栗が秋の味覚です。姑が毎年秋になると、栗ごはん用として、いねいに栗をむいて送ってくれていました。「今年も近所の農家で、いい栗を分けてもらったから食べてね」という手紙とともに届きます。スーパードで買うむき栗とは違って、味が濃く、ほっくりとして、甘くておいしいです。心がこもっているからでしょうか。『おはあちゃんの栗』という、我が家で楽しみを持っていて、大好評でした。

5年前の秋もその栗が届きました。例年通り、姑のことを話しながらおいしく食べました。しかし1か月後、突然、姑が亡くなりました。心筋梗塞と診断されました。それから5年、秋になると店頭で栗が並んでも、姑の栗に勝る栗はないような気がして買えません。我が家の食卓から栗ごはんは消えてしまいましたが、秋の味覚といったら、やはり栗です。

贈り物  
松郷・島村 紀一郎

秋の味覚といえば、秋刀魚と身不知の柿。秋の味覚を、送ってくださった方に感謝。今年もそろそろ送られてくるので、妻と二人で秋の味覚の到来を楽しみに待っております。

みだらした栗  
東狭山ヶ丘・川勝 信幸

秋の味覚といえは、みだらしたんごである。いつでも食べられると人は笑うが、暑い夏は口の中で粘つたんごを避けてしまおう。

涼しくなる秋に入ってから、熱い狭山茶とともに甘じょっぱさを味わう……これがいい。疲れがとれる気がする。

また、バックで売られているみだらしたんごに関しては、有名メーカーより無名な会社が作ったものの方が概して食感が良いのも経験の教えである。